【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和6年5月17日(2024.5.17)

【国際公開番号】WO2022/260149
【出願番号】特願2023-527933(P2023-527933)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　5/077(2010.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　5/077

【手続補正書】
【提出日】令和6年1月18日(2024.1.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
細胞凝集塊を維持する方法において、
複数の前記細胞凝集塊を含む液体を、前記細胞の培養温度より低く、かつ前記液体が凍結しない温度に維持する維持工程を含む（ただし、前記液体がナノファイバーを含有する場合を除く）方法。
【請求項２】
前記温度が、２℃以上２２℃以下である、請求項１記載の方法。
【請求項３】
前記維持工程の期間が、２時間以上である、請求項１又は２記載の方法。
【請求項４】
前記液体が、粘度調整剤を更に含有する、請求項１又は２記載の方法。
【請求項５】
前記細胞凝集塊の直径が、５０μｍ以上１，０００μｍ以下である、請求項１又は２記載の方法。
【請求項６】
前記細胞凝集塊が、未分化細胞の細胞凝集塊である、請求項１又は２記載の方法。
【請求項７】
細胞凝集塊の製造方法であって、
細胞を培地中で培養することにより複数の細胞凝集塊を形成させる培養工程、及び
複数の前記細胞凝集塊を含む液体を、前記細胞の培養温度より低く、かつ前記液体が凍結しない温度に冷却する冷却工程を含む（ただし、前記液体がナノファイバーを含有する場合を除く）、細胞凝集塊の製造方法。
【請求項８】
前記細胞凝集塊を前記液体中に濃縮する濃縮工程を更に含む、請求項７記載の方法。
【請求項９】
前記細胞凝集塊を直径により分別する分別工程を更に含む、請求項７又は８記載の方法。
【請求項１０】
前記培地及び前記液体が、細胞周期停止剤を実質的に含有しない、請求項７又は８記載の方法。
【請求項１１】

請求項７又は８記載の方法により得られた細胞凝集塊。
【請求項１２】
前記細胞凝集塊が、前記温度で２４時間維持した後に７０％以上の細胞生存率を有する、請求項１１記載の細胞凝集塊。
【請求項１３】
前記細胞が未分化細胞である、請求項１１記載の細胞凝集塊。
【請求項１４】
前記細胞がネフロン前駆細胞であり、かつ、前記細胞凝集塊を構成する少なくとも一部の前記ネフロン前駆細胞が分化能を有する、請求項１１記載の細胞凝集塊。
【請求項１５】
請求項１１記載の細胞凝集塊を含む細胞製剤。